

令和5年度 事業計画書

社会福祉法人 齊 慎 会
特別養護老人ホーム西之島の郷

1 施設概要

施設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

2 運営計画

新型コロナウイルス感染症の第 8 波の感染拡大も収束が見え、今年 5 月 8 日には新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けにおいて、今の「2 類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行する方針が政府により決定されました。脱コロナ禍の社会情勢の動きは喜ばしいことではありますが、西之島の郷でも昨年度、8 月に 5 名、2 月に 8 名のクラスター感染が発症しご入居者の施設内療養を余儀なくされました。基本的な感染対策の継続の必要性和迅速な初動対応の重要性を改めて感じるとともに、新型コロナウイルス感染症が「5 類」に移行したとしても現状では施設内における感染対策のガイドラインは大きくは変わらない、変えられないということも見えて参りました。根本的な治療薬の開発等も待たれる所ではありますが、高齢者施設の今後の政府のガイドライン発出等にも注視しつつ、私たちにとっては、これから本当の意味での「with コロナ」の時代が到来したといえます。社会情勢においても、ロシアがウクライナに侵攻し 1 年以上経過するなか、いまだに不安定な状況が続いています。ロシアの侵攻の長期化は、エネルギー資源や原材料価格の高騰につながり、これに加えて円安が進んだことで輸入コストも増加し、記録的な物価高騰が私たちの生活にも重くのしかかっています。

先の見えない不安定な社会情勢が続くなか、健全な施設運営を継続していくためにも、コロナ感染症を水際でしっかりと食い止める基本的な感染対策と初動対応を今後も継続しながら、脱コロナ禍を見据えた、今年 1 年間の施設運営に取り組んで参ります。

今年度の重点施策としては、第一に、脱コロナ禍を見据えた、施設運営体制の整備を図ります。昨今の目まぐるしく変化する社会情勢に注視して、エネルギー資源高騰や物価高騰に対して常に最新の情報を収集し、適正な収支管理に努めて参ります。また、西之島の郷も開設より 15 年が経過し、設備の老朽化による更新の検討が必要な機器が出始めています。コージェネレーションシステムの更新や厨房機器の更新等、施設設備の整備検討を行います。さらに、来年度から策定が義務付けられている自然災害や感染症に対する BCP（事業継続計画）については、点検と修正を

図りより実務的なものに更新を致します。人材確保については、依然として介護業界の売り手市場の傾向は変わらず、脱コロナ禍による求人需要の高まりも相まって厳しい求人状況が続いています。他施設との差別化と併せて、新たな介護人材の発掘について、職員採用の課題分析と検討を進めます。また、採用した新人職員の育成・指導については中間管理職（リーダークラス）の苦勞、葛藤が見られています。OJT 担当者やリーダー個人の力量に任せるのではなく、施設全体としての体系的なフォローアップ体制の構築を進めていきたいと考えます。

第二に、脱コロナ禍を見据えた、施設サービスの充実を図ります。特養の入居対象者が原則要介護3以上になっていることもあり、入居対象者の重症化や医療ニーズの増加が顕著になってきています。入居されてからも適正な心身の状態把握に努め、将来を見据えた生活のあり方をご本人、ご家族、施設側でしっかりと共有していきたいと考えます。併せて、ご入居者の近況についてはご家族様へのこまめな情報発信を継続して行い、脱コロナ禍に向けた、ご家族様との信頼関係構築のより一層の強化に努めて参ります。また、コロナ禍で疲弊した職員のメンタルヘルスの向上を図るために、今年度はアンガーマネジメントを取り入れて、感情をコントロールできる手法を職員で学んで参ります。さらに、昨今の医療・介護・保育事業所での拘束、虐待事例等を踏まえ、今一度、優しい介護、寄り添うケアについての対応を施設全体で共有して参ります。科学的介護の推進体制においては、フィードバックデータの具体的な活用と運用の道筋を定め、それをケアの方針や意向に反映することで、適正な加算算定要件の評価を行って参ります。

第三に、脱コロナ禍を見据えた、施設外部との連携強化を図ります。医療機関や老人保健施設、居宅介護支援事業所等の関係各所とは直接訪問し顔の見える関係をつくることで、事業所としての差別化と優位性を確立します。特に、同法人の居宅介護支援事業所とはこれまで以上に連携強化を図り、法人事業所連携のスケールメリットを活かします。また、法人においては介護ソフトのクラウド化等の ICT 化を促進していますが、今年度より厚生労働省が主導する情報連携のケアプランデータ連携システムの対応準備に努めます。地域連携においては、地域の社会情勢に注視しつつ「オレンジカフェ」や「出張！まちの保健室」等を徐々に開催して参ります。また、磐田市社協法人プロジェクトの活動による「福祉なんでも相談窓口」や、磐田北高校への講師派遣等の法人連携プロジェクトにも積極的に関わり、地域における公益的な取組を推進して参ります。

3 重点施策

1 脱コロナ禍を見据えた、施設運営体制の整備を図ります。

- ・社会情勢に注視して、エネルギー資源高騰、物価高騰に対して最新の情報を収集し、適正な収支管理に努めます。
- ・コージェネレーションシステムの更新、厨房機器の更新等、施設設備の整備検討を図ります。
- ・自然災害や感染症に対する BCP（事業継続計画）の点検及び修正を図ります。
- ・職員採用の課題について、他施設との差別化と併せて、新たな介護人材の発掘について分析と検討を進めます。
- ・OJT 担当者やリーダークラスの新人育成・指導についての課題を分析し、フォローアップ体制の構築を図ります。

2 脱コロナ禍を見据えた、施設サービスの充実を図ります。

- ・入居者の重症化、医療ニーズの増加について適正な心身の状態把握に努め、将来を見据えた生

活のあり方を共有して参ります。

- ・ご家族様へのこまめな情報発信を継続して行い、脱コロナ禍に向けた信頼関係構築の強化に努めます。
- ・メンタルヘルスの向上を図るためにアンガーマネジメントを取り入れ、感情をコントロールできる手法を学びます。
- ・優しい介護、寄り添うケアについての対応を施設全体で推進します。
- ・科学的介護の推進は、フィードバックデータの具体的な活用と運用の道筋を定め、それをケアの方針や意向に反映して参ります。

3 脱コロナ禍を見据えた、施設外部との連携強化を図ります。

- ・医療機関、老人保健施設、居宅事業所等とは顔の見える関係をつくることで、事業所としての差別化と優位性を確立します。
- ・法人内居宅との連携強化により事業所連携のスケールメリットの活用を図ります。
- ・今年度より厚生労働省が主導するケアプランデータ連携システムの対応準備に努めます。
- ・磐田市社協法人プロジェクトの活動により「福祉なんでも相談窓口」や、磐田北高校への関わり等、地域における公益的な取組を推進して参ります。

4 部署目標

1 特別養護老人ホーム

(1)介護部

1. 安心感のある充実した生活が送れるよう支援します。
 - ①コロナ禍においても、生活の中で入居者様と職員が共に楽しめる企画を工夫し実施します。
 - ②ユニット会議において、ケアの検討および情報共有を行いケアの均一化を図ります。
 - ③ご家族様へ日頃からのこまめな情報発信を行い、より一層の連携を図ります。
 - ④常日頃から感染症が発症したときの訓練を行い、感染対策を徹底して参ります。
2. 介護職員の資質および専門性の向上に努めます。
 - ①接遇における言葉遣いは、入居者様に対して優しく思いやりのある言葉遣いを徹底します。
 - ②アンガーマネジメントを取り入れ、感情をコントロールできる手法を学びます。
 - ③不適切ケアの防止に努め、基本ケア（食事、排泄、入浴、口腔等）の見直しを行います。
 - ④オンラインツールを活用した外部研修の参加の促進と、年間計画における内部研修の開催を実施します。
 - ⑤JT 担当者による教育システムを活用し、新任職員の育成体制の強化を図ります。
3. 業務体制を整理しシステム構築を図るとともに、介護備品等の管理に努めます。
 - ①科学的介護推進体制加算におけるデータ提出とフィードバック情報の活用の推進を図ります。
 - ②業務内容の改善、簡略化・簡素化を検討します。
 - ③福祉用具の整理・管理とメンテナンスを実施し、必要な福祉用具や備品購入の検討をして参ります。

(2)看護部

1. 「新しい生活様式の実践」の啓発を継続して行い、新型コロナウイルス感染症を持ち込まない・拡げない対策を継続します。
2. ご利用者の体調不良の早期発見と適正な処置対応を行うことで、施設での生活を維持できるよう努めます。
3. 定期的な看護部会を開催し情報共有を確実にすることで、看護職員個々のスキルの標準化を目指します。
4. 看護の後方支援の役割を理解し、多職種との連携強化を図ります。
5. 入居から看取り期までの褥瘡対策の支援強化を図ります。

(3)生活相談部・介護支援専門員

1. 病院・居宅介護支援事業所との信頼関係を強化し入居申込者の安定確保に努めるとともに、待機者の早期面談等のスムーズな入居体制の構築を図ります。
2. 部署間の連携を強化し科学的介護の推進を図ることで、合理的かつ質の高い介護の提供を目指します。
3. 社会情勢を注視しつつボランティア受入等の地域活動の再開や、社会資源としての役割をになう活動を展開して参ります。

(4)栄養管理部

1. 栄養ケア・マネジメントの取組み
 - ①ご入居者の重症化・医療ニーズが進むなか、各ご入居者の状態に応じた適切な栄養管理を行います。
 - ②看取り期や褥瘡管理における管理栄養士の役割や関与を強化し、多職種との連携の推進を図ります。
2. 安心・安全な食の楽しみへの取組み
 - ①調理における感染対策を徹底し、安全・安心な食の環境作りに努めます。
 - ②旬の食材の使用やリクエスト食の実施による、季節感のある食事の提供に努めます。
 - ③ユニットでの調理や食を通じたイベントの開催を行うことで、食を通じた楽しみの提供を行います。
 - ④西之島カフェの定期的開催を復活し、余暇時間の提供を行います。

(5)事務部

1. コロナ禍の情勢の変化に柔軟に対応し、安全・安心な施設運営の情報発信窓口としての機能を図ります。
2. 物価高騰等の社会情勢に注視し適正な請求業務、会計処理に努めるとともに、適正な収支管理に努めます。

2 ショートステイ

1. 適正な感染防止対策を継続することで、安心・安全な事業所の利用環境の構築に努めます。
2. ご利用者の個別のケアに対応できるよう介護技術・知識の習得に努めるとともに、ご利用者・ご家族の気持ちに寄り添った介護を目指します。
3. 業務内容の改善や有効的な有給休暇の取得を図り、職員の心身の負担軽減と健康が保てるよう努めます。

◇令和5年度ショートステイ職員目標◇

コロナ禍の情勢に注視し他職種とも連携することで

ご利用者・ご家族にとって安心で寄り添った介護を提供できる事業所を目指します。

3 居宅介護支援事業所

1. 人員補充による業務体制の強化により、特定事業所加算（Ⅲ）から（Ⅱ）へのスムーズな算定移行を図ります。
 - ①事業所全体で月 151 件／4 名（介護給付 30.5 件、予防給付・総合事業 9 件）以上の件数を目標とします。介護給付に繋がる予防給付委託事業も継続して参ります。
 - ②新体制における職員の連携を強化し、職員の資質向上と管理能力の向上に努めます。
 - ③厚労省が推進していく「ケアプランデータ連携システム」の情報の周知に努め、準備を整えます。
2. 人員の増員により、法人内の居宅サービス事業所との連携を更に強化し法人内におけるスケールメリットを活かします。
3. 災害時および感染症拡大時の事業継続計画（BCP）を点検・修正し、有事の際の体制を整えます。

5 行事計画

1 特別養護老人ホーム

(1) 全体行事

月	主な行事等	防災訓練
4 月		
5 月	春の健康診断、職員健康診断	通報訓練
6 月		消火訓練（消火器）
7 月	七夕	防災教育（防災全般）
8 月	納涼祭	2F 模擬避難訓練
9 月	敬老会	3F 模擬避難訓練
10 月	地域秋祭り、夜勤職員健康診断	訓練オリエンテーション
11 月		防災の日モデル訓練見学 一般防災訓練（夜間想定）
12 月	クリスマス会 お餅つき	防災教育（新任職員）

1月	新年会	消火訓練（消火栓）
2月	節分	防災教育（避難所役割等）
3月		

※コロナウイルス感染症の感染状況により、全体行事の実施は柔軟に対応します。

(2) 定期レク・セラピー・クラブ活動等

名称	開催時期・頻度	備考
音楽療法	毎週月曜日	コロナウイルス感染症の感染状況により、開催時期については柔軟に対応します。
駄菓子出張販売（駄菓子やっこ様）	不定期実施	
移動訪問販売（縁処：茶屋様）	不定期実施	
生け花クラブ	随時	
図書クラブ	随時	
スイーツクラブ	随時	
居酒屋クラブ（west island）	随時	
バー喫茶「こころ」	随時	
屋台イベント（ラーメン etc）	随時	
床屋	毎月第2、4月曜日	

(3) その他行事

名称	参加者	開催時期・頻度	備考
遠足&お食事会	ご入居者・ご家族	年1回	ユニット単位
ドライブ	希望者	随時	初詣・お花見など季節に応じて
買物ツアー	希望者	随時	ご入居者の希望に応じて
誕生日会	ご入居者	毎月1回	ユニット単位
おやつ作り	希望者	随時	ユニット単位
ふれあい動物活動	希望者	年1回	地域交流室にて開催します

上記の他、歌や踊り、銭太鼓、読み聞かせなどのボランティアによる催事や地元幼稚園児さんとのふれあい交流会の企画を検討していますが、コロナウイルス感染症の感染状況により、開催可否については柔軟に対応します。

2 ショートステイ

月	名称	備考
4月	お花見	桜の綺麗な場所へお花見にご案内します。
5月	春のお茶会	『新茶』をテーマにしたお茶会を開催します。
6月	遠足	希望者が全員参加できるよう複数回実施します。
7月	納涼祭	施設全体行事と一緒にご案内します。
8月	花火大会	打ち上げ花火と利用者様には手持ち花火をご用意します。
9月	敬老会	施設全体行事と一緒にご案内します。
10月	地域秋祭り	地域の祭典で屋台の引き廻しをご覧いただきます。
11月	秋のお茶会	『秋』をテーマにしたおやつ作りとお茶会を開催します。
12月	お餅つき	施設全体行事と一緒にご案内します。
1月	新年会	利用者様が一緒に楽しんでいただけるような新年の催しを開催します。

2月	喫茶カフェテラス	同上
----	----------	----

名称	開催時期・頻度	備考
健康王国	随時	通信カラオケ体操プログラムによる体操レクです
個別外出支援	ご利用者希望	ご利用者の希望に応じて対応いたします

※ショートステイの行事予定は、コロナウィルス感染症の感染状況を鑑みて柔軟に対応します。

6 内部研修・防災計画

【研修区分】

名称	主な内容	時期	対象者
新任職員研修	新任職員対象の基礎研修	毎月第2木曜日	1年目職員
ULスキルアップ研修	テーマ別研修1	毎月第3木曜日	ユニットリーダー
施設サービス向上研修	テーマ別研修2	毎月第4木曜日	1年以上職員
フォローアップ研修	OJT担当、2年次、3年次職員の育成研修	5, 9, 11月の第1木曜日	OJT担当、2・3年次職員
非常勤職員研修	非常勤職員の育成研修	5, 12月の第4木曜日	非常勤職員
外部研修報告会	研修内容の報告会	随時	全職員

新任職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
新任職員研修①	職場概要の理解他	4月3, 4日	新任職員	法人担当者
新任職員導入研修②	実務基礎研修他	4/5, 6, 7, 10, 11, 12	新任職員	FL他
新任職員研修③	身体拘束廃止・虐待の防止	5月11日	1年目職員	成田
新任職員研修④	感染症・食中毒の防止	6月8日	1年目職員	松島
新任職員研修⑤	介護事故の防止	7月13日	1年目職員	甲賀
新任職員研修⑥	褥瘡の発生防止	8月10日	1年目職員	石塚
新任職員研修⑦	看取り介護	9月14日	1年目職員	伊澤
新任職員研修⑧	認知症ケア	10月12日	1年目職員	松島
新任職員研修⑨	個人情報保護	11月9日	1年目職員	塩田
新任職員研修⑩	防災対応	12月14日	1年目職員	成田
新任職員研修⑪	苦情対応	1月11日	1年目職員	甲賀
新任職員研修⑫	腰痛予防と労働安全衛生	2月8日	1年目職員	伊藤
新任職員研修⑬	振り返りとフォローアップ	3月14日	1年目職員	成田

ULスキルアップ研修：テーマ別研修1

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、OJT制度、目標管理等	4/13	UL	成田, 松島, 柴田
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/18	UL	安全業務改善委員会
ケースワーク研修	対人援助研修(バリエーション7原則)	6/15	UL	松島
虐待防止研修	虐待防止について	7/20	UL	ケア向上委員会
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	8/17	UL	成田
アンガーマネジメント研修	職員の感情コントロールの研修	9/21	UL	ケア向上委員会

看取り介護研修	施設における看取り介護	10/19	UL	伊澤
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/16	UL	(株)OKU, 松島
UL スキルアップ研修	管理・運営のスキルアップ研修	12/21	UL	松島
医療的ケア研修	褥瘡の知識と発生防止の研修	1/18	UL	石塚
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/15	UL	ケア向上委員会
年度末報告会研修	各部署年度末の総括、情報共有	3/21	UL	各部署長, UL

施設サービス向上研修：テーマ別研修 2

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、OJT 制度、目標管理等	4/13, 20, 27	1年以上	成田, 松島, 柴田
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/25	1年以上	安全業務改善委員会
医療的ケア研修	褥瘡の知識と発生防止の研修	6/22	1年以上	石塚
施設運営等研修	管理・運営のスキルアップ研修	7/27	1年以上	伊藤
アンガーマネジメント研修	職員の感情コントロールの研修	8/24	1年以上	ケア向上委員会
アンガーマネジメント研修	職員の感情コントロールの研修	9/28	1年以上	ケア向上委員会
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	10/26	1年以上	成田
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/24	1年以上	(株)OKU, 松島
ケースワーク研修	対人援助研修(ハイスティック7原則)	12/28	1年以上	松島
虐待防止研修	虐待防止について	1/25	1年以上	ケア向上委員会
看取り介護研修	施設における看取り介護	2/22	1年以上	松島
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	3/28	1年以上	ケア向上委員会

フォローアップ研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
3年次職員研修	3年次職員フォローアップ研修	5/18	3年次職員	甲賀
OJT 担当職員研修	OJT 担当職員の育成研修	9/7	OJT 担当職員	伊澤
2年次職員研修	2年次職員フォローアップ研修	11/2	2年次職員	甲賀

非常勤職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
非常勤職員研修①	理念・事業計画等研修	5/25	非常勤職員	成田, 松島, 柴田
非常勤職員研修②	アンガーマネジメント研修	8/24	非常勤職員	ケア向上委員会

7 会議・委員会計画

(1) 定例会議

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
職員会議	毎月第2木曜日	施設運営、全体課題の協議等	各部署代表, FL
介護部会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	各部署代表, FL, UL
特養・相談部連絡会議	毎月第2木曜日	特養 FL と相談部の情報共有	FL, 相談部
フロアー会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	FL, UL
栄養ケアマネジメント会議	毎月第3木曜日	給食・栄養に関する事	各部署代表, FL, UL

ショート運営会議	毎月第2木曜日	SS運営に関すること等	施設長, FL, 相談員
看護部会議	1回/月	看護業務に関すること等	看護職員
ユニット会議	1回/月	ご入居者の処遇・個別ケア	ユニット職員
優先入所検討会議	随時	優先入所名簿の作成、確認	各部署代表他

(2) 委員会活動

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
事故防止・安全衛生対策委員会	4・7・10・1月	事故防止と労働安全衛生に関する事	各部署代表
感染・褥瘡予防対策委員会	5・8・11・2月	感染症と褥瘡防止に関する事	各部署代表
身体拘束廃止・虐待防止委員会	6・9・12・3月	身体拘束廃止と虐待防止に関する事	各部署代表
ユニットケア推進委員会	四半期ごと	ユニットケア運営に関わる事	各部署代表
ケアプラン委員会	四半期ごと	ケアプラン業務に関する事	担当職員
接遇向上委員会	四半期ごと	接遇等サービス向上に関する事	担当職員
安全・業務改善委員会	偶数月	安全対策、業務改善および運営に関する事	担当職員
リネン・環境整備委員会	奇数月	施設内外の環境整備、省エネと介護用品の管理	担当職員
ケア向上委員会	偶数月	職員の資質向上、教育・研修に関する事	担当職員
レク行事委員会	奇数月	レク行事全般に関する提案、運営に関する事	担当職員